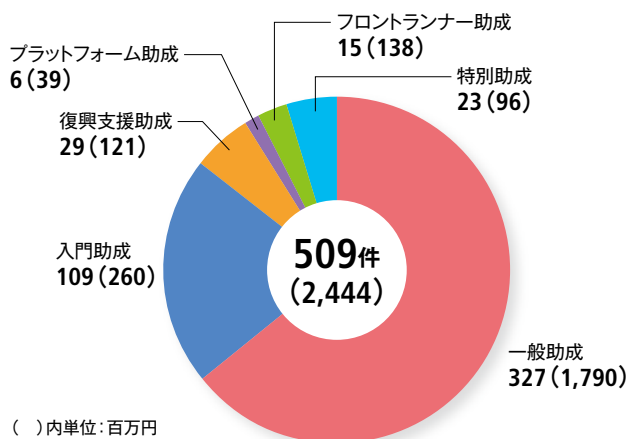


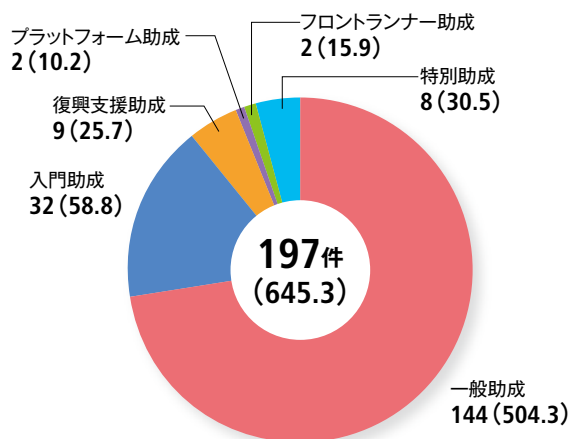
平成26年度地球環境基金助成先団体が決まりました。

新メニューとなった平成26年度の助成金は、本年1月6日から2月12日にかけて募集を行い、前年度より40件多い509件（要望額2,444百万円）の応募がありました。結果については、地球環境基金助成専門委員会の厳正な審査に基づき、197件（645.3百万円）を助成先として決定しました。

■ 応募件数(金額)



■ 採択件数(金額)

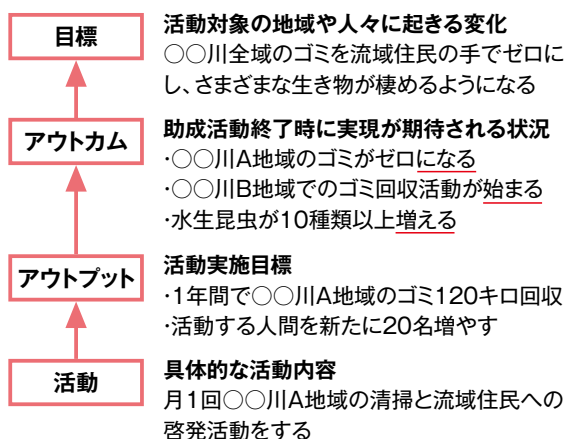


次年度に応募する皆様へのアドバイス (地球環境基金課より)

審査は、「助成金交付要望書」に記載された内容に基づき判断します。したがって、活動目的を達成するための具体的な計画(実施内容、実施方法、スケジュール及び予算など)が、いかに的確に記載されているか、そこがポイントになります。しかし、残念ながら記載内容に不備のあるケースも見受けられます。地球環境基金課から、重要な4点をアドバイスします。

1 アドバイス プロジェクトデザインがしっかりしているか?

「何を目的とした活動なのか?」「活動すると環境の何がどう変わるのか?」。数枚の「助成金交付要望書」ですが、このことが読み取れないケースが多々あります。目標、アウトカム(成果の目標)、アウトプット(活動実施の目標)、そして活動の関係を明確に示してください(数字が重要!!)。



2 アドバイス 募集案内の内容に一致しているか?

応募された書類の中には、助成金額の範囲を超えているもの、対象となる経費の単価基準を明らかにオーバーしているもの等、記載内容不備により審議対象外となるケースもあります。基本的なことですので、十分にご注意ください。

3 アドバイス 計画が適正か、無理がないか?

応募された書類の中には、計画通りに実施することが明らかに無理と思われるケースもあります。確実に実施できる無理のない計画であることが重要なポイントです。熟慮の上、計画を立ててください。

4 アドバイス 第三者のチェックを受けているか?

要望書に書かれた内容が他人に十分に伝わるか、思い込みで書かれていないか。書いた本人が確認するだけでなく、団体内外の第三者によるチェックを受けてはいかがでしょうか。手間(時間)のかかる作業ですが、その分精度の高い要望書となります。